

子どもの未来思う心が響き合った交流事業

福智町からはるか南西90kmに位置する中城村。遠く離れた兄弟都市がそこにあります。両町村の交流が始まったのは旧方城町時代の平成7年。開始から一度も絶えず続くこの事業は今回で24回を数えます。

当時方城町の子ども会が活動の一環として沖縄県での平和学習を企画。福岡県を通して交流先の募集をかけた時に、真っ先に手を挙げたのが中城村でした。発足時から代表を務める新垣勇会長は「きっかけは沖縄県から出たことのない村の子どもに雪を見せたいと思ったこと。異文化を自らの目で見て、体験することは子どもの成長・教育において大きな意味を持つと思った」と当時を振り返ります。始まった交流事業は、当初は福智町からの訪問のみで、交流も短時間でした。やがて宿泊研修の開始、ホームステイの実施や相互訪問の実現など事業内容は進化・整備され、回を重ねるごとに両町村の距離は近づいていきました。

20年以上の交流を経て子ども会悲願の町村提携

長年続く事業は子どもたちの交流だけにとどまらず、引率する実行委員の間の絆も生まれました。メンバーが変わってもその関係は育まれ、お互いの訪問時には手厚く歓迎。親交が深まる中で、より進んだ交流ができないかと議論が交わされていきました。そして平成28年3月5日、

21年という長きにわたり育んできた両町村の友情は、兄弟都市提携という形で実を結びます。福智町側で行われた調印式で嶋野勝町長と浜田京介村長は固い握手を交わし、提携書に力強くサイン。一つの事業が両町村を動かし、そして新たな段階へ進んだことを示す記念すべき日となりました。

平成7年

交流事業開始

迎えた初の交流事業。当初は中城城跡でグラウンドゴルフを行う約2時間の交流でした。

平成16年

中城村初来町

開始から9年、ついに福智町訪問が実現。一面の雪景色は子どもたちに感動を与えました。

平成28年

兄弟都市提携調印

固い握手を交わす嶋野勝町長と浜田京介村長。提携書に調印し、正式に兄弟都市に。

兄弟都市の由来... 以前から千葉県旭市と姉妹都市提携を結んでた中城村。そのため福智町との提携の際には一般的な「姉妹」ではなく「兄弟都市」という呼称で両町村の友好を表現しています。



↑中城村の世界遺産「中城城跡」からの眺望。「沖縄本島の半分を一望できる」と言われる村が誇る県内有数の観光スポットです。

沖縄県 中城村

DATA (平成30年12月末時点)

21,284人

人口

8,584世帯

世帯

15.46 km²

面積

ハイビスカス

町花・村花

藤

代表

中城村子ども会育成連絡協議会 新垣勇 会長

福智町子ども会育成連絡協議会 永末信一 会長



予算の問題もあり福智町訪問まで9年の月日がかかりました。多くの人の支えで困難を乗り越え今の交流がある。初めて訪問できた時の感動を、今後も子どもたちに伝え続けたいです。

旧町時代から24年、これほど長く続く事業は他に思い当たりません。ともに交流を築いた私たちには切れない絆がある。この交流が子どもたちの成長につながることを願っています。

福智町の兄弟都市、沖縄県中城村——。



24年の歳月をともに歩んだ絆

旧方城町と沖縄県中城村、同じ「城」の字を持つ両町村の思いが交わりスタートした交流事業。かつてふたつの子ども会が始めたこの活動は、町村を動かし、兄弟都市にまでその絆を深める架け橋となりました。